問い×ICT 実践事例 2021. 7~9月実施

英語科 2年

大分県の魅力を発信しよう。

担当 中村希美

【活動の目標】

大分県のおすすめの観光スポットや食べ物、イベントについて伝える活動を通して、実際に海外の英語 講師とのオンライン英会話に自信を持って臨むことができる。

【問い】

- ・大分県のおすすめの場所で何が楽しめるか紹介しよう。(問いの工夫 I)
- ・どんな表現を用いたら、大分県の魅力が伝わりやすいか考えよう。(問いの工夫Ⅱ)

今回 ICT を活用した場面		従来の活動
B1 大分のおすすめの場所で何ができるか調べ、おすすめする理由や良い ところをマインドマップにまとめ、そのメモを見ながら発話する。 (7月)		
B2 大分の紹介をする際に使える表現、英会話を継続するために使える表現を、CBの質問機能に思いつくままに列挙させ、全体で共有する。 (9月)		ワークシートに記入させ1人 ずつ発表したものを板書す る。
Would you mind saying that again? Sorry, I didn't hear that. could you type it in the chat? Could you please speak more slowly? Pardon? Pardon me? Sorry? Excuse me? What's that?	①Today,Fil talk about my town,Oita in Japan. ②Oita has a lot of places to visit. ③But, Oita is not so popular. ④It's because Oita doesn't have so many famos things than any other prefecture. ⑤Oita is famous for its hot springs. ⑥Oita is famous for its hot springs prefecture. ⑦Could you say that again? ⑥Where do you recommend in Philippins? ⑥Me neither.	
①Today,I'll talk about my town,Oita in Japan. ②Oita has a lot of places to visit.	Oita is famous to hot spring.	
C 1		

これまで蓄積した表現を用いて、オンライン英会話でフィリピン人講師に大分の魅力(おすすめの食べ物、訪問地、行事、天候、人々について)を伝える。



【ICT 機器を活用する良さ】

- O質問機能によって、生徒全員の考えを一斉に共有 することが容易になった。
- ○オンライン英会話中、ほとんどの生徒がわからな い単語があれば翻訳機能を駆使しながら、何とか 会話を継続させようと粘り強く取り組んでいた。

【改善すべき点と原因および改善案】

○使える表現を共有した後、表現をストックしていくのに、ワークシートでなく今後はスプレッドシートを活用していくようにしたい。